

踏み跡 <My Mountains>

静岡	静岡県で一番低い山(根川山)	No.329
----	----------------	--------

平成 26 年 6 月 10 日 (火)

6 時 39 分発の千葉北ライナー (高速バス) で東京駅へ。車中で朝食を摂った後居眠りでも・・・と思っていたが、道路が空いているせいで目も閉じぬ間に八重洲口に着いてしまった。時間潰しにコーヒータイム。

8 時 26 分発こだま 639 号、名古屋行なのでさほどの混雑もなく静かで良い。

浜松着は 10 時 23 分。すでにカンカン照りの状態で、28℃ぐらいありそうな感じがする。天気予報によると明日は雨のようなので、今日一日の晴天をうまく使って効率良く動くことにした。

駅前の日産レンタカーでモコを借り、カーナビゲーションを佐鳴湖公園に設定して 11 時前に出発。走り始めはしたが暑さにたまらず近くのセブンイレブンに飛び込み、駐車場で半袖ポロシャツに着替え。

県道浜松雄踏線を西へ、入野で北に進路を変えてしばらく進むと佐鳴湖を右手に見るようになった。やがて道はすぐに左に小さな起伏、右に湖を見る遊歩道を兼ねた歩行者最優先の「最徐行道路」になった。

案内表示に導かれて「ひょうたん池駐車場」に入り、歩行を開始。

ヨシキリのひときわ大きな鳴き声に誘われて根川湿地・ひょうたん池を見た後、地図を片手に「目指す目標」への道を探していると、池の向こう岸に真北に登る階段付きの小道が現れた。地図と磁石とで確認すると方角は間違いないので登って見ることにした。斜面に取り付くと、木漏れ日がきらきら光る程度で直射日光の湖畔とは打って変わった涼しさにホッとす。急登が終わると道は斜面を巻くようになり、やがて鞍部のようなところに出た。しばらく進むと鼻が欠けた犬の置物があり、北に進むとすぐに看板が建つ頂上に着いた。時計を見ると 12 時 09 分、「根川山 (32m) 静岡県で一番低い山・・・」と説明が書いてあり、風化して文字が判読できない歌碑があるだけの静かな山頂だった。

写真撮影をして、お茶を一口飲んだだけですぐに出発。稜線上を進むと北の鞍部から東側 (湖畔) に向かいそうな道を見つけた。気持ちの良い斜面林をゆるやかに下ると 10 分もせぬ間に湖畔の周回道路に着いた。そこには何と「根川山登山口」の標識があった。

湖畔の散策をした後、次のターゲットは根川山の北にあるはずの 33.3m の三角点。少し北側に歩くと湖畔から山に入って行く立派な道の分岐点を見つけた。ロープが張られて通行止めの表示が付いており、車は入れないようになっている。道は緩やかなカーブを何度か繰り返しながら登って行き、すぐに広い山頂に到達す



踏 み 跡 <My Mountains>

ることができた。駐車場らしい平坦地と、ヘアピンカーブの先に芝生の広場が見える。「三角点がある場所」を地図で確認しながら進んで行くと、芝生の広場の一角に白い標識とその足元の小さな石柱が立っていた。海拔 33.3m の三等三角点は、燦々と降り注ぐ日差しを浴びて凜としていた。時計を見ると 12 時 40 分、にわかにおなかが空いてきたが付近に売店はないので、駐車場に戻ってお茶を飲んでひと休みだけ。

本日のメインイベントはこれにて終了。午後からは浜名湖周辺のドライブをすることにして、移動開始。最初の目的地は弁天島。あの巨大な浜名湖が遠州灘と接するところを見に行こうという趣向。途中で見つけた石窯パン工房と称する店で昼食。

この複雑な形をした 65 平方キロほどの広さの汽水湖が遠州灘と接する部分はわずかな距離にすぎない。海水の干満によりこの接点となる場所には大きな潮の流れが発生する。真上から見下ろすと、鳴門の渦潮にも似た「地球が生きている」と実感できる面白さがある。

次は浜名湖の奥に位置する館山寺へ。一言で浜名湖と片付けてはいけない。弁天島から三ヶ日・館山寺まで、それは大きな景観の違いがある。飛行機の窓から眺めて感嘆する浜名湖の形の面白さを車で走って目で見て手で触って・・・あらためてその奥行きの高さに驚いた。

館山寺から再び遠州灘に戻って、今日の最後の見学地は中田島砂丘。

目の前の太平洋につながる海は、無限大の広がりを感じさせる。その広がりの前に灰色の砂浜が広がり、波打ち際までたどり着くのに一苦労するような奥行きだ。

浜松駅の南口には「砂山」という地名がある。風に運ばれた砂がここまで及んだということだろうと思う。そして、東海道線の車窓から見る畑の土は灰色の砂の色をしている。砂との戦い、砂との共存の上に成り立つ浜松なのかもしれない。

ホテルにチェックイン後レンタカーを返して、夜は 15 年ぶり位になる旧友と再会。愉快的雑談と適量の酒で旅の初日は終了。(明日の予定は天竜浜名湖鉄道車窓の旅)。

以上

◆関連情報 遠州の旅 <http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/enshu.pdf>